

1 開催日時

平成25年7月4日（金）午後2時から

2 開催場所

会議棟第1会議室

3 出席者

委員：鈴木委員長 土田委員 武石委員 岩田委員 真如教育長
事務局：阿部学校教育部長 石井学校教育部参事 村上社会教育課長
小坂橋統括指導主事 岩本学校教育課長 福嶋庶務係長

4 協議項目

- (1) 児童・生徒の学力向上を図るための調査について
- (2) 東大和市教育委員会委員と東大和市公立学校PTA連合協議会との懇談会について
- (3) 平成26年度（平成25年度分）教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況の点検及び評価報告書について

5 会議の要旨

- (1) 児童・生徒の学力向上を図るための調査について

①主な説明

- ・対象は、小学校5年生及び中学校2年生である。
- ・平成26年度は、7月3日（木）に実施済である。
- ・平成25年度は、昨年7月に児童・生徒に確かな学力の定着と伸長を図ること及び各教科の目標や内容の実現状況を把握し、指導方法の改善に生かすことを目的に実施した。
- ・学力向上に向けた学校・家庭の連携や過去10年間の都との平均正答率の差及び家庭教育の充実に向けた保護者のサポートについて、平成26年7月15日発行予定の東やまと教育委員会だよりに掲載する。
- ・調査結果では、小学校、中学校とも、都の平均正答率を下回る結果となっている。
- ・学級が荒れていたりすることで、基礎基本の学力が身につかないといった原因が考えられるため、これを未然に防ぐため学校支援チームを立ち上げ学校を巡回し、学校の様子を確認する取組みも始めた。
- ・今年度より、東京ベーシック・ドリル等の活用、補習授業及びやまとつくんとつくん塾等を開催し、児童・生徒の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を目指している。

②主な内容

- ・個に応じた指導や反復練習、習熟に応じた指導の継続が大切である。
- ・学力向上が図れた学校については、どういう対応をしたのか、何を行った

のか等の分析をすることが大切であり、具体的な部分、効果等をまとめ、各学校に示すことが大切である。良いことについての情報を共有することも大切である。

- ・子どもたちは先生のことをよく見ている。子どもが成果をあらわすには、先生が大きく関わる。その先生を育てるのは校長である。また、その校長を育てるのは教育委員会である。学校は、校長によって変わる。
- ・個別の指導が大切である。

(2) 東大和市教育委員会委員と東大和市公立学校PTA連合協議会との懇談会について

①主な説明

- ・7月15日(火)の午後7時から会議棟にて、教育委員と東大和市公立学校PTA連合協議会との懇談会が開催される。
懇談会のテーマは、①緊急時の学校と教育委員会の連携強化に関して②むし歯について③土曜日の授業実施について④小中一貫教育の推進について⑤授業妨害による学力低下についての5項目である。
- ・1項目ずつ、教育委員が回答及び説明を行う。

②主な内容

- ・むし歯については、保護者に向けて検査後治癒証明の提出を求めていることなどを教育委員会として実施していることを説明した方が良い。

(3) 平成26年度(平成25年度分)教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況の点検及び評価報告書について

①主な説明

- ・平成26年度(平成25年度実績)の東大和市教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況の点検及び評価について、現在の進捗状況及び今後のスケジュールについて説明した。
- ・記載内容の基本は、平成25年度の教育委員会の基本方針(原文)と、それぞれの施策の取組状況と今後の取組みの方向性を示し、3部構成としている。今回は、網掛けや二重線の部分の表示を外し、前年度との違いのみでなく、教育委員会全体の事業を再確認する形を取っている。

②主な内容

- ・特になし。